NPO ピースサポート協会　ニュース　第6号

ピースサポートとは「心の平和支援」の願いが込められています。　　２０１５年（平成２７年）４月

発行　NPO 法人 ピースサポート協会
〒379-2143　群馬県前橋市新堀町 190 番地 1
TEL/FAX　027-265-2277
E-mail:info@peace-sa.co　URL:http://peace-sa.com

東日本大震災から4年　被災地は今！ 私たちは最後まで支援を続けます

東日本大震災からの復興状況

避難者数　昨年 12 月時点でいまだに全国に **23 万人**以上おり、この 1 年で 4 万人しか減少していない。

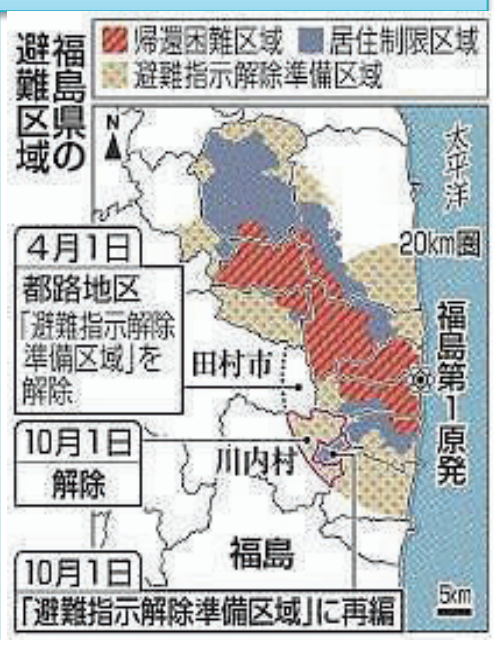
災害公営住宅　仮設住宅から災害公営住宅への転居が始まっているが、災害公営住宅の計画戸数 21.895 戸のうち、昨年 8 月時点で入居者決定戸数は 2,832 戸と約 13%に止まっている。

経済産業　震災前の売り上げ水準と比べ、最も高い建設業では約 7 割が回復している一方、最も低い水産・食品加工業では約 2 割に止まっているこれから被災地の商品を食べて応援”していくことが大切です。

原子力災害　昨年 10 月時点で、いまだに約 **7 万 9 千人**が原子力災害による避難指示区域から避難している。
除染の完了にはまだ数年がかかる見込みです。

原発作業員毎日 6,000~7,000 人が必死に作業されています。

（復興庁「全国の避難者等の数［平成２６年 12 月 26 日］」
「東日本大震災からの復興の状況に関する報告［平成 26 年 11 月 28 日］」より）



「復興」から置き去り～川内村仮設住民　H27. 3. 12 訪問

川内村は、２０１２年１月に、村長が他の自治体に先駆けて「帰村宣言」を行い、４月には、川内村役場機能・小中学校が川内村に戻った。避難解除に伴い、８月には一人当たり月１０万円の損害賠償が打ち切られ、更に２０１４年３月には、２０万円の生活保障も打ち切られている。

賠償打ち切りが生活弱者の台所直撃

米の緊急支援呼びかけ　今、郡山市内の３か所の仮設に約１５０世帯が住んでいる。村へ帰ったのは２８軒だけ。

現在仮設での緊急支援は、マッサージ支援、生活物資や食糧支援、散髪支援、仮設部屋の掃除などが喜ばれている。川内村の地域は８区に分かれているが、帰村した人々が高齢者のために人とのコミュニケーションが欲しい。

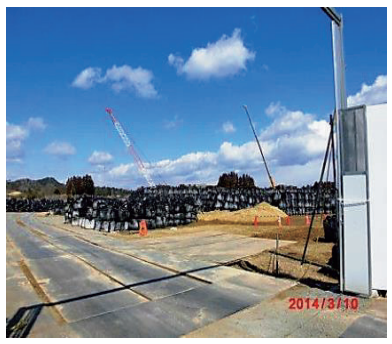
仮設集会場にて
中央右が志田自治会長→

※南相馬市を現地視察しました。　H26. 3. 10

福島県南相馬市は、福島第 1 原発の放射能によって居住困難区域が広がる地域です。南相馬市内の馬場地区の住宅近隣の農地などに除染廃棄物の仮置き場が設置されていました。

放射能の空間線量は毎時５, 26μSv＝年間４６ ミリSv に至る数値でした。年間１ ミリSvを超えていました。

福島県の避難者数
152,945 名
南相馬市避難者数
21,241 名
宮城県仮設住宅
22,000 戸
東松島市仮設住宅
1,808 戸
石巻市仮設住宅
6,228 戸



※双葉郡浪江町「希望の牧場」の吉沢正巳さんを訪ねました。H26. 3. 10

「300 頭以上の牛を無意味に死なせない！原子力の国政、東電が空を大地を汚す放射能からも、声なきいのちを守るために戦い続けます。」

「深い深い絶望の先に希望が見えるかもしれない！」

※郡山市３a 野口さんの事務所を訪ねました。H27. 3. 12

小児甲状腺がん118名に増加！2015.2.12 発表

私たちは郡山３a と共に、子供たちの甲状腺検査「チョコ募金」の支援を行っています

¥500 募金した人に六花亭のチョコをプレゼント

ペップキッズ　子供の屋内運動場
子供たちは放射能で外遊びは危険

Mサポのふれあい祭りにてチョコ募金を呼びかける。H27. 2. 28

宮城県石巻市、東松島市の支援活動のご報告！　　多くの市民の皆さまのご支援を頂きました。

※石巻市雄勝町立浜　支援ツアー10 月 23～24 日

末永会長さんは「漁業復興率はお陰さまで８０％くらいです。」「雄勝町民が３分の１の人が居なくなってしまったので、ワカメや昆布のご支援をいただくことで仕事への希望が湧いてきます。」と話されました。雄勝町立浜の人たちは、高台へ１５件の住宅が計画されあと３年かかります。

石巻市雄勝町立浜の高台造成地にて

雄勝湾のワカメ昆布やホタテ漁の養殖猟場へ案内していただきました。

※雄勝町立浜ワカメ支援　視察訪問しました。　H27. 3. 11

雄勝町立浜の漁師の方々は仮設住宅に住み、高台の新居移転は 2~3 年かかります。家を無くし新たな生活復興まで苦難の道のりが続きます。雄勝町立浜協和会自治会長末永勝紀さんの言葉が心に響いてきました。

「遠くからご支援頂き本当に有難うございます。皆さまとお会いすると新たな勇気が湧いて来ます。今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。」

と涙ぐんでおられました。今年の 3 月末日には新ワカメが収穫できる予定とのことでした。

微力な私たちですが少しでもワカメ復興支援をさせて頂きたいと思います。

雄勝の新鮮な生ワカメ￥500 円で仮設に住む漁師さん方への生活復興支援になります。

どうぞ多くの市民の皆さま方のご協力を心からお願い申し上げます。

※東松島市大曲仮設　6月7～8日小野竹一さんの講演会開催されました。（足利市民プラザ･前橋下川公民館）

東松島市大曲仮設住宅の自治会長小野さんは、東日本大震災に家を無くし仮設住宅の自治会長の任命を受け、360 世帯の仮設に住む住民に笑顔を戻したい！と取り組んできた。

東矢本駅北地区へ 307 戸の災害公営住宅を造成中、作年の 11 月には 45 世帯が移転した。

「町づくりは、日本一住みよい街づくりをしよう！」しかしすべての人が移り住むまでには３～５年かかってしまう。住民の最後の一人が移るまで、私は家族とともに仮設住宅に住んで見守ります。」と講演され、参加した足利市内と前橋市内の自治会長さんはじめ参加者３３０名の市民が、心から復興への願いをかみしめていました。

10 月 4 日 東松島市大曲仮設の「ねぶた祭り」に参加しました！

11 月には「あおい団地」第 1 回の 47 世帯の方が新居に移転する運びになりました。震災以来遠い青森県のグループが毎年復興支援のために仮設で「ねぶた行進」をしてきました。

仮設の住民が少しでも元気に明るくなれるように、精力的に行事を進行する小野竹一自治会長さんの深い思いに感動が伝わってきました。

11月11～12日「歌声サロン交流会」支援

小野自治会長さんの仮設住宅集会場で前橋市の「すみれ会」「ゆきの会」16 名が参加し「歌声サロン交流会」開催。

参加者 70 名の方々が「私たちは毎日引きこもりがちなのでとても楽しかったです」と大変喜びの声を頂きました。

11 月 14 日には新居の「あおい団地」へ 47 世帯の人が移ります。

最新ニュース　終戦 70 年目の年

みんなで戦争をしない平和な国を考えましょう！

終戦70年 平和の集い 金田昌子さん講演会 開催されます！

金田さんが最初に書いたへその緒で結ばれた母と赤ちゃんの絵
東京都墨田区郷土文化資料館

平和の大切さを知ってほしい
東京大空襲の体験者が語る

私の背に火がつくと
母は素手でもみ消した。
母は私の背におおいかぶさった。
ふりむくと母のわき腹が燃えている。

東京都板橋区在住
金田昌子さん（87 歳）
墨田郷土文化資料館や都区内の
小学校で平和を伝えている

6月6日(土)PM1:00～前橋市下川淵公民館
6月7日(日)AM10:00～足利市民プラザ

東京大空襲の中を生き抜いた金田昌子さんの
生の声を聴きに　ぜひお越しください！

入場無料

朝日新聞のインタビューに応じた吉永さんは

「どんな状況でも、核兵器はノー」

「日本人だけはずっと、未来永劫（えいごう）、核に対してアレルギーを持ってほしい」「どういう形にせよ、核の傘に入っているにせよ、あれだけひどい広島、長崎の原爆被害があったんだからそれをみんなしっかり勉強してどんな状況でも核兵器はノーと言ってほしい」「本当の核の威力というものが私にはまだ分かっていない」としつつ「でも、原子力の発電というのは、特に日本ではやめなくてはいけない。これだけ地震の多い国で、まったく安全ではない造り方、管理の仕方をしているわけですから。どうやって廃炉にしていくかを考えないと」『さよなら原発』と私は声を出していきたい。

みんなの命を守るために、今、せっかく原発が止まっているのだから、今やめましょう」と。そして「まだ毎日、汚染水など現場で苦しい思いの中で作業していらっしゃる方がたくさんいる。そういう中で、外国に原発を売るというのは、とても考えられないことです」と述べた。

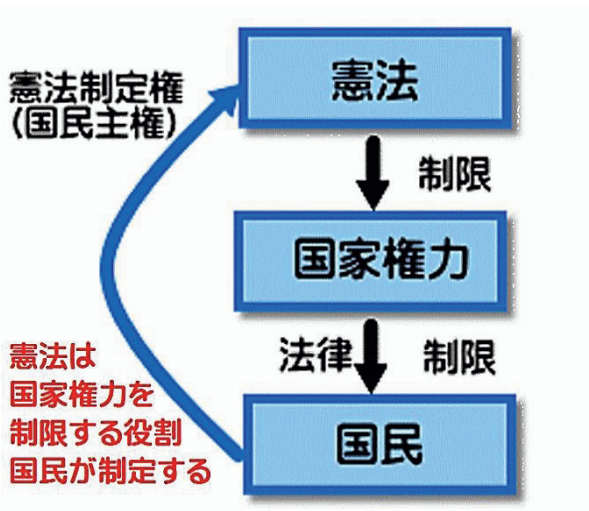
広島, 長崎, 福島への思いを語る　**吉永小百合さん**
朝日新聞デジタル　8月6日(水)配信

平和憲法について考えましょう！

※　現行憲法と自民党の憲法改正草案を比較する。
第 2 章安全保障＜9 条＞平和主義
＜9 条の２＞国防軍、＜9 条の 3＞領土等の保全等

現在の憲法	自民党の憲法草案
第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。 ②　前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。	第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動としての戦争を放棄し、武力による威嚇及び武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては用いない。 ２　前項の規定は、自衛権の発動を妨げるものではない。

※ 国家権力は法律によって国民を制限し
憲法は国家権力の行使、暴走を制限するもの
憲法制定の権限は国民にある（国民主権）



第九条の二（国防軍）
我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する。
２　国防軍は、前項の規定による任務を遂行する際は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。
３　国防軍は、第一項に規定する任務を遂行するための活動のほか、法律の定めるところにより、国際社会の平和と安全を確保するために国際的に協調して行われる活動及び公の秩序を維持し、又は国民の生命若しくは自由を守るための活動を行うことができる。
４　前二項に定めるもののほか、国防軍の組織、統制及び機密の保持に関する事項は、法律で定める
５　国防軍に属する軍人その他の公務員がその職務の実施に伴う罪又は国防軍の機密に関する罪を犯した場合の裁判を行うため、法律の定めるところにより、国防軍に審判所を置く。この場合においては、被告人が裁判所へ上訴する権利は、保障されなければならない。

第九条の三
国は、主権と独立を守るため、国民と協力して、領土、領海及び領空を保全し、その資源を確保しなければならない。

平成２６年度　支援活動の報告　温かいご支援ありがとうございました。

支援活動	内　　容
雄勝ワカメ支援活動	３，６００袋　（振り込み済み）
雄勝生昆布支援活動	１，０００袋　（振り込み済み）
チョコ募金支援活動	甲状腺検査支援　１，０００口分　（振り込み済み）
復興支援活動	雄勝町, 東松島大曲浜仮設（復興支援寄付￥300,000） 郡山３a 支援, 飯館村避難者の方々へ生活物資の寄贈
海外支援活動	ジムネットへ（シリア緊急支援の寄付金￥100,000）
人材育成事業	ダルマ塾　４月～毎月１回（参加者１８１名）
講演会事業	足利市、前橋市２会場　（参加者３１０名）
理事役員会	役員会　毎月１回
支援者サポーター	１５４名

豊かな心を学び合う「ダルマ塾」
本音で話し合って学びあうと勇気が湧いてきて感動が生まれます。
日時：毎月第３土曜日 AM10:00～
会場：足利市民プラザ
対象：平和支援活動への意欲のある方

「葉鹿町トラック市」のワカメ支援
毎年開催されるトラック市で、ワカメ支援を樋口さんの支援グループが呼びかけてくださいます。あっという間に 200 袋のワカメが完売され支援の輪が拡がりました。H26.6.1

ごあいさつ　今年３月で東日本大震災から４年目を迎えました。国内では風化が進み生命の安全より「経済」へと原発再稼働の方向へ歩んでいます。しかし今も福島県民が１２万人、全国では２３万人の方々が避難生活されています。

プレハブの仮設住宅などへ避難し、家族を亡くし家を無くし故郷を失ってしまった人々が、一日も早く安心して生活できるまで共に歩んでいきたいと願っています。

NPO 法人ピースサポート協会　理事長　久保田光明　拝

あなたも支援活動のサポーターになりましょう！
年一口￥3,000-の支援（サポート）が拡がっています。
ピースサポート協会は、多くの皆さんと共に、思いやりあふれる家庭や社会を拡げ、東日本の被災された方々や、海外の貧困生活に苦しむ子供たちへの支援を推進しています。どうぞ皆さん、私たちと一緒に平和支援のサポーターになりましょう。
あなたの支援（サポート）が世界中に拡がっています。

シリア難民の人々３００万人

世界中の幸せは一人の人の心から
NPO 法人　ピースサポート協会
事務所　〒379-2143 群馬県前橋市新堀町 190 番地1
TEL/Fax　(027)265-2277　携帯 090-1113-9200
E-mail info@peace-sa.com　http://peace-sa.com